

説 教

オープン・チャーチ礼拝 北浜チャーチ

2021年7月11日(水)

黒田 禎一郎

主 題：「あなたを引き上げるお方」

—まことの助け手—

テキスト：マタイ福音書14章22-33節

はじめに

- ・本日は私たちの教会の「Open Church 礼拝」日です。
皆様の来会を歓迎します。また「オンライン」で礼拝参加くださっている皆様も歓迎致します。今日は、聖書からイエス・キリストについて、分かりやすくお語りしたく思います。
- ・はじめに、皆さんに一つ質問があります。⇒「私はだれでしょうか？」
皆さんには、この質問の回答を探していただきたいのです。
問1)：私は偽名を使い行動しています。
問2)：私は時に変装して行動しています。
問3)：私は複数の携帯電話を使いわけています。
問4)：私は親しい友人や家族にも本当の仕事を明かしません。
*ヒント：私は犯罪者やスパイではありません。
- ・皆さんは、この「私」という人物はだれであると思いますか・・・？
「私」とは、飲食店を星の数で格付けする「ミシュラン・ガイド」の覆面調査員のことです。顔や電話番号を知られると、調査に行ったお店から手厚いサービスを受けてしまう恐れがあるからです。身元を隠し、匿名の一般客でいることが職業柄、必要だそうです。
- ・覆面調査員は職業柄、身分を明かすことを控えています。しかし、よく見えますね。観察し、評価して調査をしています。こういう覆面調査員の方々が、じつは日本に、いいえ世界各地にいるのです。
- ・皆さん。天地を創造された神は、よく見て観察しておられるお方です。覆面調査員以上に、よく観察し、私たちの動向を観察しておられます。すなわち、コロナ禍の中で、私たちがどのように生きているかであります。神は実在されるお方です。聖書は神の存在は被造物によって明らかであると、述べています。私たちの周りの命がある物はすべて、神がお造りくださいました。聖書は、その神がお語りくださる書物です。
- ・コロナ・パンデミックは、私たちに問題を提起してくれました。



なぜなら、それは私たちにとって大きな試練であるからです。試練というのは、「試み」でもあります。今の時代、何らかの「試み」に会っている方は、少なくはないでしょう。

- ・聖書の神は、私たちが目で見えるお方ではありません。しかし、私たちをよく見ておられます。しかも愛してくださっています。今日、私たちはその神について考えてみたいと思います。今日の聖書テキストから2点考えましょう。

大切なポイント

1. 人生には嵐がある

1) ガリラヤ湖上で起こった奇跡

まず聖書をお開きください。マタイ福音書14章22-33節です。

- ・今から約2千年前、舞台はイスラエルのガリラヤ湖という湖でした。イエスは弟子たちを舟に乗せ、自分より先に向う岸に向かわせました。そしてイエスは、祈るために山に登られました。すると舟は向かい風に出会いました。それは大きな試練でした。
 - ・湖上では風を^{さえぎ}るものはありません。山から吹き降ろす風は、どれほど強かったでしょうか。何スタディオン（1スタディオンは約185m）と書かれていますから、おそらく400m～500mは岸から離れていたことでしょう。そこに向い風である風が吹いていました。
 - ・ガリラヤ湖は三方が山に囲まれています。西はアルベル山、東はゴラン高原、西には丘があり次第にイスラエル最高峰のヘルモン山に向かい高くなっています。南は湖水がヨルダン川へ流れて死海へ下って行きます。したがって三方の山から風が吹いてくると、そこは盆地のようですから、逃げ場はありません。
 - ・ですから、弟子たちが風に悩まされたことは容易に想像できます。きっと何時間（約半日？）も湖上で、風と必死に戦い続けたことでしょう。
 - ・するとイエスの姿が湖上で見えました。
- 14:26 イエスが湖の上を歩いておられるのを見た弟子たちは「あれは幽霊だ」と言っておびえ、恐ろしさのあまり叫んだ。
- ・イエスが水の上を歩いてこられる姿を見た弟子たちは、もうパニック状態となりました。彼らは怯えて、「恐ろしさのあまり叫んだ。」と記録されています。それは、あり得ないからです。その彼らに、イエスはすぐに返答されました。
- 14:27 イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない」と言われた。

- ・その時です。ペテロはチャレンジャーでした。こう言いました。
14:28 するとペテロが答えて、「主よ。あなたでしたら、私に命じて、水の上を歩いてあなたのところに行かせてください」と言った。
漁師出身のペテロは勇敢な人でした。彼はイエスは幽霊ではないかと思いました。そこで彼は挑戦的なお願いをしたのでした。そこがペテロでした。
- ・イエスはペテロの言葉を受けて、言われました。
14:29 イエスは「来なさい」と言われた。そこでペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスの方に行った。
14:30 ところが強風を見て怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。
- ・沈みかけたペテロに対し、
14:31 イエスはすぐに手を伸ばし、彼をつかんで言われた。「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか。」
14:32 そして二人が舟に乗り込むと、風はやんだ。
- ・これが夜明けごろ、ガリラヤ湖上で起こった一大事件でした。奇跡です。もし、このようなことが目前で起こるならば、弟子たちでなくても、だれでも気が動転してしまうことでしょう。聖書は事実を事実として記録している歴史書です。私たちはこの歴史書から、何を学ぶことができるのでしょうか？

2) 湖上での出来事を人生に置き換える (適用)

- ・私たちはガリラヤ湖上での出来事から、少なくとも2点は考えられます。
 - ① 人生には不可解な出来事が起こる
 - ・弟子たちは向かい風との戦いで、精魂使い果てて、弱りきっていました。そこで突然おこる不可思議なこと、目を疑うようなことが起こりました。
 - ② イエスの指示に従って行動したのに、向かい風 (困難) に出会った。
 - 彼らはイエスの12人の弟子たちでした。主であり、師であるイエスに愛された弟子たちでした。この湖上の出来事直前には、イエスは数万人に「パンと魚の奇跡」を行われ、きっと彼らもその配給で疲れきっていたに違いありません。またイエスも肉体的に疲労を覚えたに違いありません。
 - ・聖書は、イエスがどのような行動を取られたか、次のように記録しています。
14:23 群衆を解散させてから、イエスは祈るために一人で山に登られた。夕方になっても一人でそこにおられた。
- ・人間の真の姿は、想定外の事態に出会ったとき、どのような行動をとるかで明らかになります。気が動揺し、頭が真っ白になる人、パニック状態となる人がいます、けれども、それが私たち人間ではないでしょうか。弟子たちだけではないでしょう。

- ・弟子たちは湖上で向かい風に会い、パニックとなりました。彼らは肉体的疲労の上に、さらに湖上で大きな戦いに遭い苦しみました。向かい風という自然の力（強風）に、悩まされました。
- ・話は少し脱線しますが、風には①「追い風」と、②「向かい風」があります。ヨットはこの風の原理を生かして水の上を走行します。①は問題ありませんが、問題は②です。私たちは「向かい風」という逆風に、どのように対処するかです。
- ・コロナ禍の現在、自分たちの力ではどうすることもできない壁に出ている方もおられると思います。しかし、大丈夫です。強風を見て怖くなったペテロは沈みかけました。その時、イエスは手を差し伸べて、引き上げてくださいました。イエスは困難の中にある人を、引き上げてくださるお方です。ここに向かい風（試練）の中で対処する方法があります。イエスはまことの助け主です。

{例 話}

- ・英国でたいへん著名なチャールズ・スポルジョン博士は、人生の揺るがない旅路を船の航海にたとえて、次のように語りました。

「私たちは神を信じて、天に向かう船に乗り信仰の旅路を出発します。途中で船酔いになり、寝込むかも知れません。またある時は、嵐に遭って甲板の上を転げ回ることがあるかも知れません。さまざまな目に遭うかもしれません。人生で過ちを犯したり、挫折したり、停滞することもあるかも知れません。しかし、イエス・キリストという絶対的で安全な船に乗っていれば、船は確実に目的地の港へと運んでくれるのです。」



<スポルジョン博士>

- ・スポルジョン博士は、人生を生きる秘訣をこのように的確に述べました。

2. 人生で大切なことは「信頼」である

- ・人はだれでも試練下に置かれるならば、平静心を失うものです。パニックにもなるでしょう。そして場合によっては、恐れと恐怖に包まれてしまいます。先は暗黒と考えてしまいがちです。

{例 話}

- ・福井県には東尋坊という名所があります。そこは海に面した絶壁の岩場で、昔から自殺者が後を絶ちません。1年で20人～30人の自殺者が出ていまし

た。そこで自殺予防の声をかける NPO 法人が作られ、メンバーたち 11 人が、午前 11 時から日没までパトロールしています。悩みを抱えていそうな人を見かけると声をかけています。

- ・ 2004 年にこの活動を始めてから、自殺を思いとどまらせた人は 700 人を超えました。今では自殺する人は、10 人前後となりました。コロナ禍で全国的に自殺者が増えている現在、ボランティアのメンバーはこう述べていました。
- ・「本当に死にたい人はいません。みんな声をかけて欲しいと願っています。そこで大切なのは、その人の悩みの原因を取り除かないと、問題は解決しないということです。悩みが残ったままですと、再び自殺を考えてしまいます。」
- ・ 皆さん。だれかが「人は悩む動物である」という名言を残しましたが、確かに私たちは悩みをかかえてしまう者です。イエスは次のように言われました、

ヨハネ福音書 14 章

14:1 「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。

イエス・キリストは、私たちの悩みに耳を傾け、そして「あなたを引き上げるお方」です。

- ・ ここでペテロとイエスの会話を、もう少し掘り下げてみましょう。

1) ペテロの応答

- ・ ペテロの言葉と行動を観察してみると、彼は確かにチャレンジャーであったことが分かります。

14:28 するとペテロが答えて、「主よ。あなたでしたら、私に命じて、水の上を歩いてあなたのところに行かせてください」と言った。

しかし、一方では子どももようでもありました。

14:30 ところが強風を見て怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。

- ・ 少し冷静に考えれば、イエスの弟子であるのに、なんという軽率な人であろうか、と思わされます。しかし、私はこのようなペテロが大好きであります。聖書は彼の性格をそのまま記録しているからすばらしい書物です。
- ・ それに対して、イエスの応答をみましょう。

2) イエスの応答

- ・ イエスのペテロに対しての応答を、動詞だけを拾ってみると次のようです。

14:27 : しっかりしなさい、わたしだ。恐れることはない。

14:29 : イエスは「来なさい」と言われた

14:31 : すぐに手を伸ばし、彼をつかんで言われた。

「信仰の薄い者よ。なぜ疑ったのか」

・ここで、イエスはペテロを、①「ことば」と、②「行動」をもって助けられたことが分かります。イエスにある人の幸いが秘められています。私たちが覚えてく思います。

① イエスは「ことば」(聖書)で励ましと指導を与えてくださるお方です。

② イエスは、「手を伸ばして、引き上げてくださるお方です」

・皆さん。「引き上げてくださる」とは、2つの意味があります。

① イエスは物理的に、ペテロをお救いくださった(メシア、救い主)

② イエスは弟子たちを、一人の人間として引き上げてくださった。

聖書は次のように記録しています。

14:33 舟の中にいた弟子たちは「まことに、あなたは神の子です」と言って、イエスを礼拝した。

・彼らは礼拝心へ導かれました。人間としての成長です。

3) イエスは助け主

・では、ペテロには何が必要であったでしょうか ⇒ 「信仰」(信頼)

14:27 イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたした。恐れることはない」と言われた。

イエスのことばを受け入れ、イエスを信頼することでした。信頼こそ、ペテロにとって大切なことでした。

『例 話』

- ・日本の歴史においても、戦争は多くの悲劇を残しています。もう語るまでもなく、第二次大戦において沖縄で犠牲となった方々は、日米で計20万人以上が死亡しました。今も世界では戦争がつづき、人間の愚かさに心が痛みます。
- ・同じような苦しみは、ソ連シベリアでもありました。シベリアに送られたドイツ人たちの中で、ある若い男女が愛し合うようになり、結婚の約束をしました。しかし新郎はシベリア奥地へ護送されてしまいました。新婦は難を逃れ欧州経由で、カナダへ渡ることができました。二人はバラバラとなりました。
- ・ところがその後、ソ連ではペレストロイカが起きました。そしてシベリヤにいた新郎は解放され、ドイツへ渡り、愛する新婦を捜し始めました。やっこのこと、新婦のカナダの居場所を見つけることができました。新郎は、すぐカナダへ行き、なんと50年振りに再会することができました。そしてカナダで結婚式を挙げたのでした(私はその写真大切に保管していましたが、大切にしすぎてどこに置いたか不明)。
- ・皆さん。これはシベリアであった、じつに美しい実話です。

彼ら 2 人は結婚することなく、50 年間も愛の約束を固く守り通していました。真実の愛は変わることはありませんでした。

- ・約束を守った背景には、愛がありました。そして互いの間に、愛に元づく信頼がありました。ここに秘話の鍵がありました。
- ・いかがでしょうか？ あなたもイエスのおことばを信頼されませんか。イエスは「まことの助け手」です。あなたの人生をよく知っておられ、そして何よりも愛しておられます。

ま と め

主 題：「あなたを引き上げるお方」

—まことの助け手—

- ・もしあなたが、人生の嵐に遭っているならば、どのような応答をされるでしょうか？今日は、イエスのおことばを最後に引用させていただきます。

14:27 イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたした。恐れることはない」と言われた。

- ・あなたは、「あなた引き上げてくださるお方」ご存知でしょうか。イエス・キリストは、まことお助け主です。どうぞ、イエスを信頼し、歩んでください。

*God bless you !